

箱根町景観計画 実施計画

平成 22 年度実施状況報告書



箱根トラスト推進事業、資源保護対策事業、地下水保全対策事業、地域林業形成促進事業、豊かな森林づくり事業、仙石原すすき草原保存事業、やすらぎの森整備事業、景観保全整備事業、史跡整備事業、近代化遺産調査・活用事業、箱根関所歴史文化推進事業、箱根関所整備事業、観光街路灯整備補助交付金事業、ハイキングコース等整備事業、公衆便所整備事業、大平台地内歩道整備事業、公園整備事業、芦ノ湖沿岸散乱ごみ回収業務委託事業、散乱ごみ・不法投棄処理対策事業、ごみ減量化再利用推進事業、花いっぱい事業、環境学習推進事業

箱根町環境整備部都市整備課 2011.6

目 次

1	実施状況報告書について	
	(1) 景観計画実施計画書	1
	(2) 実施状況報告書	1
2	取組み概要	1
3	進行管理	1
4	実施状況の公表	2
5	方針と対象事業	3
6	計画推進のための方策	5
7	事業の実施状況	6

1 実施状況報告書について

(1) 景観計画実施計画書

景観まちづくりの将来像の具現化へ向け、それらを効果的・計画的に進めるため、平成 22 年 1 月に「重点的に取り組むべき事項」と「その内容」を明らかにした『実施計画書』を作成しました。

この実施計画書では、景観計画に掲げる「良好な景観形成に関する基本方針」等を基に事業を 6 つに区分し、景観計画施行後の 5 年間（STEP 1）における事業内容を明らかにしています。

(2) 実施状況報告書

景観計画及び実施計画の施行後 2 年次が終了したことから、事業の取り組み状況の把握と、それら施行に係る課題整理や対応方策の検討を行い、報告書としてとりまとめました。

2 取り組み概要

平成 22 年度においては、主に次の事項について取り組みました。

- (1) 景観法等の規定による事務手続を適切に行うための環境整備を優先的に進めました。
- (2) 良好な景観形成を進めるために、景観条例第 10 条に規定する「町が担うべき先導的な役割」やそれらに対する方策を検討しました。
- (3) 住民等と連携した景観まちづくりの推進に努めました。
- (4) 景観関連事業の着実な推進に努めました。

3 進行管理

景観計画では、良好な景観形成を推進するための体制整備について、その考え方を示しており、景観条例の運用や景観形成に関する調査、審議を行う組織を庁内設置することとしています。

そこで、平成 21 年 9 月に景観に関連する課において町長が指名する職員 8 名で組織する「箱根町景観施策推進会議」を設置しました。

この推進会議では、景観施策の調査、研究及び企画立案に関することその他、景観計画の進行管理に関することも所掌しており、今回(平成 22 年度)の実施状況のとりまとめについては、進行管理の一環として平成 23 年 6 月 6 日に開催した第 8 回目となる推進会議において、各事業の実施状況の確認と今後の課題の整理を行いました。

< 景観施策推進会議メンバー（H23.4.1～） >

1 メンバー

部	課	班	職	氏名
企画観光部	企画課	企画調整班	主査	藤田 貴嗣
企画観光部	観光課	産業施設班	主査	齋藤 貴裕
総務部	財務課	管財契約班	主事	加藤 文子
環境整備部	都市整備課	道路管理班	主事	小田 滋朗
環境整備部	環境課	生活環境班	主査	田澤 孝
環境整備部	上下水道温泉課	浄水センター	主査	山崎 勝弘
教育委員会	学校教育課	学校教育班	主事	鈴木 拓哉
教育委員会	生涯学習課	文化財保護班	副主幹	鍵和田 和巳

2 事務局

部	課	班	職	氏名
環境整備部	都市整備課		課長	太田 眞市
環境整備部	都市整備課	景観推進班	主任主事	勝又 啓之
環境整備部	都市整備課	景観推進班	主事	竹村 洋一

4 実施状況の公表

(1) 実施状況については、行政の透明性の向上や住民と協働したまちづくりの積極的な推進の観点等から次の方法で公表します。

- ・町ホームページへの掲出
- ・都市整備課窓口での閲覧

(2) 実施状況については、職員における景観意識の高揚や景観施策の全庁的な推進を図るため、庁内グループウェア等により積極的に職員周知します。

5 方針と対象事業

ここで、景観計画に掲げる「良好な景観の形成に関する基本方針」とそれに係る事業の体系を示すこととします。

方針1 - 山なみの保全と豊かな自然を望むビューサイトエリアの形成

箱根トラスト推進事業

資源保護対策事業

地下水保全対策事業

地域林業形成促進事業

豊かな森林づくり事業

仙石原すすき草原保存事業

やすらぎの森整備事業

景観保全形成事業（眺望点の指定）

方針2 - 地域独自の街なみ景観等の保全と形成

史跡整備事業

近代化遺産調査・活用事業

箱根関所歴史文化推進事業

箱根関所整備事業

方針3 - 歩きながら景観を楽しめる道路・駐車場の整備

観光街路灯整備補助交付金事業

ハイキングコース等整備事業

公衆便所整備事業

大平台地内歩道整備事業

公園整備事業

方針4 - 「もてなしの心」で迎え入れる環境の整備

芦ノ湖沿岸散乱ごみ回収業務委託事業

散乱ごみ・不法投棄処理対策事業

ごみ減量化再利用推進事業（教育及び啓発事業）

景観保全形成事業（屋外広告物の行為の制限）

方針5 - 町民とともに進める景観づくり

花いっぱい事業

環境学習推進事業（「緑のカーテン」設置委託）

景観保全形成事業（景観まちづくりを考える会設置）

景観保全形成事業（景観まちづくりアドバイザー制度の創設・運用）

景観保全形成事業（表彰制度の創設）

景観保全形成事業（情報提供・意識啓発）

その他

景観保全形成事業（公共施設整備指針作成）

景観保全形成事業（景観計画実施計画策定）

景観保全形成事業（その他調査・研究）

6 計画推進のための方策

「3 進行管理」において記述したとおり、平成 23 年 6 月 6 日に開催した第 8 回景観施策推進会議において、各事業の実施状況の確認と今後の課題の整理を行いました。

ここでは、計画を適切・効果的に進めるための方策として各委員から出された意見等を紹介するとともに、それら意見を今後の推進における留意事項として扱うこととします。

各事業の執行においては、常に景観への配慮に心がけ、多方面から監視するような体制をとっていく。

景観施策を効果的に進めるため、対象事業の選択の精査や重点化等について検討する。

各課、事業において、連携し景観施策に取組めるよう検討する。

事業の取組み状況等の対外的な周知について、積極的な情報発信に努める。

各事業の取組みについては、実施効果等を検証する。

公共施設の整備等については、率先して景観計画に基づき取組み、全庁的な景観施策推進の方策を検討する。

7 事業の実施状況

事業名	1-1 箱根トラスト推進事業	担当課	企画課
H21 実施結果	<p>(実施結果)</p> <p>町民や事業者から善意の寄付金があり、資源保全基金への積み立てを行うとともに、基金の一部を資源保全に係る事業へ活用した。</p> <p>寄付金：【件数】 20 件、【総額】 2,529 千円 充当先：【件数】 3 件、【総額】 4,827 千円</p> <p>資源保護対策事業（企画課） 仙石原すすき草原保存事業（観光課） 史跡整備事業（生涯学習課）</p>		
	<p>事業費：2,529 千円（決算）</p>		
	<p>(実施効果)</p> <p>資源保全に係る事業に活用する基金が充実した。</p>		
H22 実施結果	<p>(実施結果)</p> <p>町民や事業者から善意の寄付金があり、資源保全基金への積み立てを行った。また、基金の一部を資源保全に係る事業へ充当するとともに、仙石原すすき草原地内の土地購入に活用した。</p> <p>寄 付 金：【件数】 23 件、【総額】 4,957 千円 充 当 先：【件数】 3 件、【総額】 4,843 千円</p> <p>資源保護対策事業（企画課） 仙石原すすき草原保存事業（観光課） 史跡整備事業（生涯学習課）</p> <p>土地購入：【面積】 34,700 m²、【総額】 31,500 千円</p>		
	<p>事業費：36,457 千円</p>		
	<p>(実施効果)</p> <p>自然公園法上の特別保護地区内にあり、「かながわの景勝50選」にも選定された景勝地である仙石原すすき草原地内の土地の一部を取得することにより、大変貴重な自然を保護することができた。</p>		
H23 実施予定	<p>寄付金の資源保全基金への積み立てや、必要に応じて資源保全に係る事業への基金の活用をする。</p>		
H24 実施予定	<p>寄付金の資源保全基金への積み立てや、必要に応じて資源保全に係る事業への基金の活用をする。</p>		

<p>H25 実施予定</p>	<p>寄付金の資源保全基金への積み立てや、必要に応じて資源保全に係る事業への基金の活用をする。</p>
<p>景観における 事業推進の 今後の課題</p>	<p>豊かな自然環境や歴史的文化遺産などの保全を図るため、今後も引き続き基金を充実しつつ、必要に応じて基金を資源保全に係る事業に活用する必要がある。</p>
<p>備 考</p>	

事業名	1-2 資源保護対策事業	担当課	企画課
H21 実施結果	<p>(実施結果)</p> <p>観測井で温泉・水井戸の水位等の観測を実施し、データの収集及び温泉と地下水の因果関係の分析を行った。</p> <p>観測場所：3箇所</p>		
	<p>事業費：2,675 千円（決算）</p> <p>(実施効果)</p> <p>過去の長期的観測データを踏まえ、観測井の水位・温度の変化及び降水量との相関関係の研究を進めた。</p>		
H22 実施結果	<p>(実施結果)</p> <p>観測井で温泉・水井戸の水位等の観測を実施し、データの収集及び温泉と地下水の因果関係の分析を行った。</p> <p>観測場所：3箇所</p>		
	<p>事業費：3,175 千円</p> <p>(実施効果)</p> <p>過去の長期的観測データを踏まえ、観測井の水位・温度の変化及び降水量との相関関係の研究を進めた。</p>		
H23 実施予定	<p>観測井で温泉・水井戸の水位等の観測を実施し、データの収集及び温泉と地下水の因果関係の分析を行う。</p>		
H24 実施予定	同上		
H25 実施予定	同上		
景観における 事業推進の 今後の課題	<p>豊かな自然の源である地下水資源の保護に寄与するとともに、温泉・地下水資源の保護を図るため、今後も引き続き温泉・水井戸の水位等を観測することにより、温泉と地下水の因果関係を解析する必要がある。</p>		
備 考			

事業名	1-3 地下水保全対策事業	担当課	企画課
H21 実施結果	<p>(実施結果)</p> <p>町内全域の地下水・湧水等についての調査を業者委託し、データの収集を行った。また、地下水保全対策研究会を設置した。</p> <p>研究会：平成 21 年 12 月設置、1 回開催</p> <hr/> <p>事業費：15,400 千円（決算）</p> <p>(実施効果)</p> <p>地下水・湧水等について全町的に把握することができたとともに、研究会による平成 22 年度以降の研究体制を整えることができた。</p>		
H22 実施結果	<p>(実施結果)</p> <p>地下水水位等のモニタリング調査(4井)・河川流量調査・降水量のデータ収集などを行った。また、地下水保全対策研究会を開催し、委託事業と併せて地下水保全の方策案等について検討を行った。</p> <hr/> <p>事業費：9,800 千円</p> <p>(実施効果)</p> <p>昨年度の実態調査の結果を踏まえ、上記の調査を行うことにより、地下水の状況把握等を進めることができた。また、地下水保全の方策案についての検討を進めることができた。</p>		
H23 実施予定	平成 22 年度までの調査・研究結果などをもとに「地下水保全計画」を策定する。		
H24 実施予定	未定		
H25 実施予定	未定		
景観における 事業推進の 今後の課題	四季折々の美しい森林景観等の役割を担う地下水資源の保全対策をするため、調査・研究を進め、地下水保全計画を策定し、その計画に基づき着実に地下水資源を保全していく必要がある。		
備 考			

事業名	1-4 地域林業形成促進事業	担当課	観光課
H21 実施結果	(実施結果)		
	実績なし		
	事業費：0千円(決算)		
H22 実施結果	(実施結果)		
	実績なし		
	事業費：0千円		
H23 実施予定	活力ある健全な森林を育成し、森林景観の保全を図る。		
H24 実施予定	同上		
H25 実施予定	同上		
景観における 事業推進の 今後の課題			
備 考	過去の実績 H18 9,800円 H19 7,400円 H20 7,500円		

事業名	1-5 豊かな森林づくり事業	担当課	観光課
H21 実施結果	<p>(実施結果)</p> <p>下刈り、地拵などを行い、森林整備を推進した。 ボランティアなどによる樹下植栽を実施し、広葉樹林化を推進した。</p> <p>・実施内容</p> <p>お玉ヶ池地区周辺植栽 4/29 0.3ha に約 300 本 仙石原片平地区植栽 10/31 1.3ha に約 1,400 本 その他森林ボランティア活動を 2 回実施</p> <hr/> <p>事業費：42,915 千円（決算）</p> <p>(実施効果)</p> <p>やまなみ景観の保全や植栽参加者に対して自然景観の保護への関心の向上に寄与した。</p>		
H22 実施結果	<p>(実施結果)</p> <p>下刈り、地拵などを行い、森林整備を推進した。 ボランティアなどによる樹下植栽を実施し、広葉樹林化を推進した。</p> <p>・実施内容</p> <p>お玉ヶ池地区周辺植栽 4/29 1ha に約 1,200 本 仙石原片平地区植栽 10/23 1ha に約 1,400 本 その他森林ボランティア活動を 1 回実施</p> <hr/> <p>事業費：48,033 千円</p> <p>(実施効果)</p> <p>やまなみ景観の保全や植栽参加者に対して自然景観の保護への関心の向上に寄与した。</p>		
H23 実施予定	ボランティアなどによる樹下植栽、下刈り、地拵などを行い、やまなみ景観の保全を図る。		
H24 実施予定	同上		
H25 実施予定	同上		
景観における事業 推進の今後の課題			
備考			

事業名	1-6 仙石原すすき草原保存事業	担当課	観光課
H21 実施結果	<p>(実施結果)</p> <p>昔からの景勝地であるすすき草原を維持するため、火入れを行った。 仙石原すすき草原は多くの観光客に親しまれる貴重な地域であることから、そうした観光客に対応するため、仮設トイレや案内板の設置、駐車場の確保を行った。</p> <hr/> <p>事業費：4,238 千円（決算）</p> <p>(実施効果)</p> <p>すすき草原の景観を維持することができ、また、快適に景観を楽しむための環境整備が図れたとともに、失われていく原風景の保全ができた。</p>		
H22 実施結果	<p>(実施結果)</p> <p>仙石原すすき草原は多くの観光客に景勝地として親しまれる貴重な地域であることから、そうした観光客に対応するため、仮設トイレや案内板の設置、駐車場の確保を行った。(東日本大震災による影響のため、山焼きは中止になったもの。)</p> <hr/> <p>事業費：5,218 千円</p> <p>(実施効果)</p> <p>観光客が快適に景観を楽しむための環境整備が図れた。</p>		
H23 実施予定	<p>すすき草原への火入れの実施 景観を楽しむための環境整備</p>		
H24 実施予定	<p>同上</p>		
H25 実施予定	<p>同上</p>		
景観における 事業推進の 今後の課題	<p>景観に配慮したトイレや案内板の設置を検討していく。</p>		
備 考			

事業名	1-7 やすらぎの森整備事業	担当課	観光課
H21 実施結果	(実施結果) 園内の草刈や案内板などの補修・整備を行った。		
	事業費：2,836 千円（決算）		
	(実施効果) 山なみの保全や豊かな自然を望むビューサイトエリアの形成が図られた。		
H22 実施結果	(実施結果) 園内の草刈や案内板などの補修・整備を行った		
	事業費：2,382 千円		
	(実施効果) 山なみの保全や豊かな自然を望むビューサイトエリアの形成が図られた。		
H23 実施予定	園内の草刈や案内板などの補修・整備、間伐材搬出や広葉樹の植栽による森林景観の保全を図る		
H24 実施予定	同上		
H25 実施予定	同上		
景観における 事業推進の 今後の課題			
備 考			

事業名	1-8 景観形成保全事業 (眺望点の指定)	担当課	都市整備課
H21 実施結果	(実施結果) 箱根町の景観資源を活用できる、眺望点の指定方策及び指定後の事業展開について検討した。		
	事業費：0千円(決算)		
	(実施効果) 試案等を作成することができた。		
H22 実施結果	(実施結果) 昨年度に引き続き、眺望点の指定方策及び指定後の事業展開について検討した。		
	事業費：0千円		
	(実施効果) 調査・研究を進めることができた。		
H23 実施予定	眺望点の調査・研究		
H24 実施予定	眺望点の指定準備(候補地の募集、指定検討委員会の設置等)指定		
H25 実施予定	眺望点の指定		
景観における 事業推進の 今後の課題	箱根町の景観資源を活用できる、眺望点の指定方策及び指定後の事業展開について検討していく必要がある。		
備考			

事業名	2-1 史跡整備事業	担当課	生涯学習課
H21 実施結果	(実施結果)		
	事業費：0千円(決算)		
	(実施効果)		
H22 実施結果	(実施結果)元箱根石仏・石塔群ガイダンス棟補修工事及び宮城野城案内板修繕を行った。		
	事業費：1,135千円		
	(実施効果)景観に配慮した形状・配色に注意し自然と調和した改修を行うことができた。		
H23 実施予定	史跡案内板設置・修繕については、景観に配慮した整備を行う。		
H24 実施予定	同 上		
H25 実施予定	同 上		
景観における 事業推進の 今後の課題			
備 考			

事業名	2-2 近代化遺産調査・活用事業	担当課	生涯学習課
H21 実施結果	(実施結果)箱根の近代化に関わる建造物等の調査を実施した。		
	事業費：300千円(決算)		
	(実施効果)文化財登録などの保護措置を進めるための基礎データの蓄積を図ることができた。		
H22 実施結果	(実施結果)箱根町内の建造物のうち、明治元年から大正15年までに建てられた建物で、箱根町税務課が保有する課税台帳をもとに調査		
	事業費：300千円		
	(実施効果)文化財登録などの保護措置を進めるための基礎データの蓄積を図ることができた。		
H23 実施予定	箱根の近代化に関わる建造物で、文化財登録などの保護措置が必要な個所を優先的に調査実施し、基礎データの蓄積を図る。		
H24 実施予定	同上		
H25 実施予定	未定		
景観における 事業推進の 今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・箱根の近代化に関わる建造物等の保護措置を進め、景観形成に配慮しながら優先順位確立。 ・町指定文化財登録の基準設置。 		
備考			

事業名	2-3 箱根関所歴史文化推進事業	担当課	生涯学習課（箱根関所）
H21 実施結果	（実施結果）なし		
	事業費： 6,796 千円（決算）		
	（実施効果）		
H22 実施結果	（実施結果）なし		
	事業費： 4,759 千円		
	（実施効果）		
H23 実施予定	なし		
H24 実施予定	なし		
H25 実施予定	なし		
景観における 事業推進の 今後の課題	特になし。		
備 考			

事業名	2-4 箱根関所整備事業	担当課	生涯学習課
H21 実施結果	(実施結果) 箱根関所資料館湖側転落防止用木柵の改修を行った。		
	事業費： 3,472 千円 (決算)		
	(実施効果) 景観に配慮した形状・配色に注意し自然と調和した改修を行うことができた。		
H22 実施結果	(実施結果) なし		
	事業費： 13,942 千円		
	(実施効果)		
H23 実施予定	なし		
H24 実施予定	箱根関所資料館湖側転落防止用木柵の改修		
H25 実施予定	同上		
景観における 事業推進の 今後の課題	関所資料館施設整備について、景観に配慮した改修等を実施していくもの。		
備 考			

事業名	3-1 観光街路灯整備補助金交付事業	担当課	観光課
H21 実施結果	<p>(実施結果)</p> <p>地域性を生かした情緒豊かな街並み景観を創出する景観街路灯について補助金を交付した。1基 525千円</p> <p>新設改良工事費 3,474,600円</p> <p>電気料 20,612,500円</p> <p>修繕料 2,995,400円</p>		
	<p>事業費：27,082千円(決算)</p>		
	<p>(実施効果)</p> <p>歩行者が安心して歩くことができ、また、観光スポットの回遊性を高めるとともに、地域性を生かした情緒豊かな街並み景観を創出する景観街路灯を整備することができた。</p>		
H22 実施結果	<p>(実施結果)</p> <p>地域性を生かした情緒豊かな街並み景観を創出する景観街路灯について補助金を交付した。1基 525千円</p> <p>新設改良工事費 3,460,600円</p> <p>電気料 20,899,600円</p> <p>修繕料 3,158,200円</p>		
	<p>事業費：28,043千円</p>		
	<p>(実施効果)</p> <p>歩行者が安心して歩くことができ、また、観光スポットの回遊性を高めるとともに、地域性を生かした情緒豊かな街並み景観を創出する景観街路灯を整備することができた。</p>		
H23 実施予定	補助金交付		
H24 実施予定	同上		
H25 実施予定	同上		
景観における事業 推進の今後の課題	<p>既設の街路灯を茶色等に塗り替えるなど景観に配慮した街路灯整備が行われるよう、「箱根町観光街路灯整備補助金交付要綱」の改正を検討していく。</p>		
備考			

事業名	3-2 ハイキングコース等整備事業	担当課	観光課
H21 実施結果	(実施結果) コース脇や休憩所等の草刈 案内板、階段、水切りなどの設置		
	事業費：8,506 千円（決算）		
	(実施効果) 歩行者が安心して歩くことができるハイキングコースを整備することができ、 ビューポイントを確保し、歩きながら景観を楽しむ環境づくりができた。		
H22 実施結果	(実施結果) コース脇や休憩所等の草刈 案内板、階段、水切りなどの設置		
	事業費：8,921 千円		
	(実施効果) 歩行者が安心して歩くことができるハイキングコースを整備することができ、 ビューポイントを確保し、歩きながら景観を楽しむ環境づくりができた。		
H23 実施予定	草刈 案内看板、階段や水切りなどの設置		
H24 実施予定	同上		
H25 実施予定	同上		
景観における 事業推進の 今後の課題	箱根景観形成公共施設整備指針に基づき、景観に配慮した案内板などの整備を 検討していく。		
備考			

事業名	3-3 公衆便所整備事業	担当課	観光課
H21 実施結果	(実施結果) 定期的な公衆便所の清掃、破損・故障箇所の修繕		
	事業費：12,051 千円（決算）		
	(実施効果) 快適に町内観光できるような環境整備ができた		
H22 実施結果	(実施結果) 定期的な公衆便所の清掃、破損・故障箇所の修繕		
	事業費：12,929 千円		
	(実施効果) 快適に町内観光できるような環境整備ができた		
H23 実施予定	H22 年度に作成した整備計画に基づき改修を行う		
H24 実施予定	同上		
H25 実施予定	同上		
景観における事業推進の今後の課題	周囲の景観に配慮した施設整備を検討していく。		
備考			

事業名	3-4 大平台地内歩道整備事業	担当課	都市整備課
H22 実施結果	<p>(実施結果)</p> <p>観光客の散策路と地区住民の駅への利便性向上のため、歩道整備を行った。整備にあたっては、こげ茶色のネットフェンスや手すり、擬木素材の建材を積極的に使用した。</p>		
	<p>事業費 : 11,875 千円</p>		
	<p>(実施効果)</p> <p>周囲の景観に配慮した歩道が整備された。</p>		
H23 実施予定	なし		
H24 実施予定	なし		
H25 実施予定	なし		
H26 実施予定	なし		
事業推進の 今後の課題	今後も引き続き環境に配慮しながら維持補修を行う必要がある。		
備考			

事業名	3-5 公園整備事業	担当課	都市整備課
H21 実施結果	<p>(実施結果)</p> <p>利用者の利便向上を図るため、公園施設の維持補修を行った。整備にあたっては、木製建材を使用し、また、色彩については「箱根町景観計画等における届出対象の基準及び行為の制限の取扱い」に定める色彩基準に適合するものとし(無彩色：N9.0)、周囲の景観との調和に努めた。</p>		
	<p>事業費：6,825 千円(予算額 7,100 千円)</p>		
	<p>(実施効果)</p> <p>周囲の景観に配慮した公園施設が整備された。</p>		
H22 実施結果	<p>(実施結果)</p> <p>利用者の利便向上を図るため、公園施設の維持補修を行った。整備にあたっては、「箱根町景観計画等における届出対象の基準及び行為の制限の取扱い」に定める色彩基準に適合するものとし(こげ茶色：5YR3/1)、周囲の景観との調和に努めた。</p>		
	<p>事業費：5,056 千円(予算額 5,073 千円)</p>		
	<p>(実施効果)</p> <p>周囲の景観に配慮した公園施設が整備された。</p>		
H23 実施予定	公園施設の維持補修		
H24 実施予定	同上		
H25 実施予定	同上		
景観における事業推進の今後の課題	今後も引き続き景観に配慮しながら整備及び維持補修を行う必要がある。		
備考			

事業名	4-1 芦ノ湖沿岸散乱ごみ回収業務委託事業	担当課	環境課
H21 実施結果	(実施結果) 実施なし		
	事業費：		
	(実施効果)		
H22 実施結果	(実施結果) 6月から11月の6カ月間、1か月10日を要し、湖側からはボートで、岸側からは徒歩で、芦ノ湖沿岸の散乱ごみ・不法投棄物の撤去・回収を行った。		
	事業費：4,076千円		
	(実施効果) 芦ノ湖沿岸の自然環境の保全と環境美化の推進を図ることができた。		
H23 実施予定	6月から11月の6カ月間、1か月10日を要し、湖側からはボートで、岸側からは徒歩で、芦ノ湖沿岸の散乱ごみ・不法投棄物の撤去・回収を行う。		
H24 実施予定	なし		
H25 実施予定	なし		
景観における事業推進の今後の課題	平成22・23年度と県の緊急雇用創出事業臨時特例基金補助金の交付を受け実施するものであるが、24年度以降について町の単独事業として継続していくか否かの検討を要すもの。		
備考			

事業名	4-2 散乱ごみ・不法投棄処理対策事業	担当課	環境課
H21 実施結果	<p>(実施結果)</p> <p>散乱ごみ回収業務委託により、次の業務を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路清掃ごみの回収 ・主要道路のごみ、不法投棄物の回収 ・観光行事の臨時ごみ回収 		
	<p>事業費：4,924 千円（決算）</p>		
	<p>(実施効果)</p> <p>散乱ごみや不法投棄物の回収・撤去により、町の美観形成に寄与することができた。</p>		
H22 実施結果	<p>(実施結果)</p> <p>散乱ごみ回収業務委託により、次の業務を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路清掃ごみの回収 ・主要道路のごみ、不法投棄物の回収 ・観光行事の臨時ごみ回収 		
	<p>事業費：5,282 千円</p>		
	<p>(実施効果)</p> <p>散乱ごみや不法投棄物の回収・撤去により、町の美観形成に寄与することができた。</p>		
H23 実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ・道路清掃ごみの回収 ・主要道路のごみ、不法投棄物の回収 ・観光行事の臨時ごみ回収 		
H24 実施予定	同上		
H25 実施予定	同上		
景観における事業推進の今後の課題	散乱ごみや不法投棄を未然に防止するための施策を考えていく必要がある。		
備考			

事業名	4-3 ごみ減量化再利用推進事業	担当課	環境課
H21 実施結果	<p>(実施結果)</p> <p>ごみ減量化再利用推進事業の中の「教育及び啓発事業」として、次のイベント等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光美化・自然愛護標語・作文・ポスターコンクール(6月～8月) ・第47回美化大会(8月6日実施) ・美化功労者表彰(美化大会時に実施) <hr/> <p>事業費：526千円(決算：教育及び啓発事業分)</p> <p>(実施効果)</p> <p>上記イベント等を通じ、町民の環境保全に対する意識を高め、啓発することができた。</p>		
H22 実施結果	<p>(実施結果)</p> <p>ごみ減量化再利用推進事業の中の「教育及び啓発事業」として、次のイベント等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光美化・自然愛護標語・作文・ポスターコンクール(6月～8月) ・第48回美化大会(8月10日実施) ・美化功労者表彰(美化大会時に実施) <hr/> <p>事業費：349千円</p> <p>(実施効果)</p> <p>上記イベント等を通じ、町民の環境保全に対する意識を高め、啓発することができた。</p>		
H23 実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ・観光美化・自然愛護標語・作文・ポスターコンクール ・美化大会 ・美化功労者表彰 		
H24 実施予定	同上		
H25 実施予定	同上		
景観における 事業推進の 今後の課題	<p>美化大会が、平成24年に第50回を迎えるにあたり内容の検討をしていきたい。またコンクールについても、学校統合により学校数も減っていることから項目の見直しも必要と思われる。</p>		
備 考			

事業名	4-4 景観保全形成事業 (屋外広告物の行為の制限)	担当課	都市整備課
H21 実施結果	<p>(実施結果)</p> <p>H22.1に「公共施設整備指針」を策定した。その中で公共サインの整備に係る事項を規定した。</p> <p>箱根関所通りをモデル地区として屋外広告物、特にのぼり旗について規制のあり方を町民と協働して調査・研究した。(H22年度継続)</p>		
	<p>事業費：0千円(決算)</p>		
	<p>(実施効果)</p> <p>公共サインの整備に対して、ある程度庁内における意識の啓発が図れたと思われる。</p> <p>モデル地区において、のぼり旗の規制(1事業者2本以内)が図れた。</p> <p>また、町民と協働し効果的で実践的な取組ができた。</p>		
H22 実施結果	<p>(実施結果)</p> <p>公共サイン設置状況調査を全庁的に実施した。(H22.6.17~H22.9.17)</p> <p>引き続き、箱根関所通りの事業者と協働して調査・研究を行い、その取組みにおいて重複する交通規制サイン等の撤去をモデル的に実施した。(H22.6.22)</p>		
	<p>事業費：0千円</p>		
	<p>(実施効果)</p> <p>公共サインの設置状況を把握できた。</p> <p>関所通りの景観を向上させることができた。</p>		
H23 実施予定	<p>公共サインガイドラインの策定</p> <p>モデル地区における調査・研究</p> <p>規制、誘導方策の検討</p>		
H24 実施予定	<p>同上</p>		
H25 実施予定	<p>同上</p>		
景観における事業推進の今後の課題	<p>箱根らしい屋外広告物の規制・誘導とそれらに対する独自の取組みをどのようにすべきか検討する。</p> <p>自然公園法等の規制との関連を考える。</p>		

事業名	5-1 花いっぱい事業	担当課	環境課
H21 実施結果	<p>(実施結果) 町内の沿道花壇(12ヶ所)及びフラワーボックス(3ヶ所28個)の管理 花苗の植栽・配布(配布先:大原自治会等13団体) 緑の銀行(町民41名に78本の樹木を配布)</p> <hr/> <p>事業費:1,307千円(決算)</p> <p>(実施効果) 上記事業により、町内の美観形成や町民による美化植栽活動の推進に寄与することができた。</p>		
H22 実施結果	<p>(実施結果) 町内の沿道花壇(10ヶ所)及びフラワーボックス(2ヶ所22個)の管理 花苗の植栽・配布(配布先:大原自治会等13団体) 緑の銀行(町民33名に63本の樹木を配布)</p> <hr/> <p>事業費:1,222千円</p> <p>(実施効果) 上記事業により、町内の美観形成や町民による美化植栽活動の推進に寄与することができた。</p>		
H23 実施予定	花・樹木の植栽・配布及び花壇管理・種苗育成		
H24 実施予定	同上		
H25 実施予定	同上		
景観における 事業推進の 今後の課題	定期的に花壇及びフラワーボックスの管理及び維持補修を行う必要がある。		
備 考			

事業名	5-2 緑のカーテン設置委託	担当課	学校教育課
H21 実施結果	(実施結果) 湯本小学校		
	事業費： 千円(決算)		
	(実施効果)		
H22 実施結果	(実施結果) 湯本小学校校舎2階ベランダから4階ベランダまで、縦7m、横28mの緑のカーテンを作成した。		
	事業費：120千円		
	(実施効果) 教室内の気温が外気温より2~3低下した。 植物の成長を通して、児童の学習活動ができた。		
H23 実施予定	平成22年度の湯本小学校をモデルに、県企業庁クリーンエネルギー助成金を活用して、湯本小学校、箱根の森小学校、湯本幼児学園にて実施予定		
H24 実施予定	平成22年度の湯本小学校をモデルに、県企業庁クリーンエネルギー助成金を活用して、宮城野地域までの幼・小・中で事業展開予定		
H25 実施予定	同上		
景観における事業推進の今後の課題	地域の気温による植物の育成度合いや教室への日照度、猿害が課題である。		
備考	環境先進観光地 - 箱根のまちづくりに向け、次世代を担う園児・児童・生徒に対して、植物育成を通して環境保全の意識を高揚させるとともに、地域の自然景観との調和も考えさせる。		

事業名	5-3 景観形成保全整備事業 (景観まちづくりを考える会設置)	担当課	都市整備課
H21 実施結果	<p>(実施結果)</p> <p>箱根関所通りを景観まちづくりのモデルとして、町民と行政との協働による取組を展開した。その際にまちづくりを考える会に代わるものとしてエリア対象事業者で構成する研究会を自主的に立ち上げていただいた。</p> <p>H21 年度は、研究会(箱根関所通り景観まちづくり研究会)において町の景観アドバイザーを活用していただき、良好な景観形成のための具体的な提言をいただいた。</p> <p>会議開催回数：2回(アドバイザー制度を利用)</p> <p><会議の内容></p> <p>第1回 アドバイザー現地調査、意見交換</p> <p>第2回 アドバイザーからの景観形成のための提案</p>		
	<p>事業費：0円</p>		
	<p>(実施効果)</p> <p>箱根関所通りにおいては、事業者の対象エリアにおける景観形成へ向けた取組みの機運が高まった。</p> <p>乱立していたのぼり旗が減少した。(各店舗2本ずつ、自然公園法の基準による。)</p>		
H22 実施結果	<p>(実施結果)</p> <p>平成21年度に引き続き、箱根関所通りをモデルとして、景観形成のための方策検討を行った。</p> <p>会議開催回数：5回(内1回アドバイザー制度を利用)</p> <p><会議の内容></p> <p>第1回 今後の具体的方策について</p> <p>第2回 実施計画書の作成について</p> <p>第3回 のれんによる統一した景観形成の検討について</p> <p>第4回 今後の関所通りの景観まちづくりについて</p> <p>第5回 アドバイザーからの景観形成のための提案</p>		
	<p>事業費：0円</p>		
	<p>(実施効果)</p> <p>箱根関所通りにおいては、事業者の対象エリアにおける景観形成へ向けた取組みの機運が高まった。</p> <p>一部店舗壁面及び自動販売機の色が周囲の景観に配慮された色彩に変更された。</p>		

H23 実施予定	引き続き関所通りの景観まちづくりについて調査・研究するとともに、他地域の展開について検討する。
H24 実施予定	他地区、他地域への展開を図る。
H25 実施予定	全町的な展開を図る。
事業推進の 今後の課題	平成 23 年度においては、更なる住民等の巻き込み方策や効果的な取組みの実施について検討する必要がある。 今後の他地区、他地域への展開へ向け、事前に十分な情報提供が必要である。
備考	

事業名	5-4 景観保全形成事業 (景観まちづくりアドバイザー制度の創設・運用)	担当課	都市整備課
H21 実施結果	(実施結果) アドバイザー派遣要綱制定(H21.10.1 施行) 景観まちづくり団体へアドバイザー派遣(2月、3月派遣)		
	事業費: 78 千円(予算額 100 千円)		
	(実施効果) 景観条例第 28 条に規定する町民等への技術的支援の方策として、制度創設した。 派遣対象区域における良好な景観形成へ向けた、具体的な取組みについてアドバイスを受けることができた。		
H22 実施結果	(実施結果) 景観まちづくり団体へアドバイザー派遣(H23.2.8)		
	事業費: 32 千円		
	(実施効果) 派遣対象区域における良好な景観形成へ向けた、具体的な取組みについてアドバイスを受けることができた。		
H23 実施予定	制度運用 その他支援制度検討		
H24 実施予定	同上		
H25 実施予定	同上		
景観における事業推進の今後の課題	景観条例に規定する町民等への技術的支援方策として本制度を創設したが、その他手段における支援策についても、今後検討する必要がある。		
備考			

事業名	5-5 景観保全形成事業 (表彰制度の創設)	担当課	都市整備課
H21 実施結果	<p>(実施結果)</p> <p>先進地における表彰制度等について情報収集した。 箱根町にふさわしい表彰制度等について検討した。 (表彰制度試案の作成、景観の達人制度創設検討)</p> <hr/> <p>事業費：0 千円 (決算)</p> <p>(実施効果)</p> <p>先進地における状況(トレンド)を把握することができた。 試案等を作成することができた。</p>		
H22 実施結果	<p>(実施結果)</p> <p>表彰制度の一環として、町が良好な景観形成に積極的に取り組んでいる店舗等を認定する「景観まちづくり協力店認定制度」を創設し、2店舗を協力店として認定するとともに、それら店舗の取組みを積極的に周知した。</p> <hr/> <p>事業費：49 千円</p> <p>(実施効果)</p> <p>協力店を2店舗認定し、それら取組みを積極的に周知したことで、良好な景観形成に対する意識の向上が図られた。</p>		
H23 実施予定	協力店の認定・推進		
H24 実施予定	同上		
H25 実施予定	同上		
景観における 事業推進の 今後の課題	昨年度は湯本地域及び仙石原地域に各1店舗認定したものであるが、各地域に本制度の普及を図るため、温泉地域、宮城野地域及び箱根地域についても協力店の認定推進に努める必要がある。		
備 考			

事業名	5-6 景観保全形成事業 (情報提供、意識啓発)	担当課	都市整備課
H21 実施結果	<p>(実施結果)</p> <p>ホームページから積極的に情報発信した。 広報に「景観かわら版」を連載(6回)した。 景観条例、計画の規定事項について、その手続きや概要をまとめ、窓口において積極的に情報提供した。</p>		
	<p>事業費: 0千円(決算)</p>		
	<p>(実施効果)</p> <p>景観計画、条例の規定事項や町の取組み状況を積極的に情報提供することができた。</p>		
H22 実施結果	<p>(実施結果)</p> <p>箱根関所通り景観まちづくり研究会との協働した取組み、景観まちづくり協力店の紹介等、主に住民主体の取組みを中心にホームページ、広報等で積極的な情報発信を実施した。</p>		
	<p>事業費: 0千円</p>		
	<p>(実施効果)</p> <p>住民主体の取組みについて積極的な情報提供を行ったことで、良好な景観形成に係る意識の向上が図られた。</p>		
H23 実施予定	効果的な情報提供の手段を検討し、積極的に取組む。		
H24 実施予定	同上		
H25 実施予定	同上		
景観における 事業推進の 今後の課題	効果的な情報提供の手段について十分な検討が必要である。		
備 考			

事業名	6-1 景観保全形成事業 (公共施設整備指針策定)	担当課	都市整備課
H21 実施結果	(実施結果) 良好な景観の形成において、町が先導的な役割を果たすため必要となる公共建築物、道路、公園その他公共施設の整備に関する指針を定めた。		
	事業費：0千円(決算)		
	(実施効果) 公共施設の整備に関し、庁内におけるルールづくりができた。 対外的に町の方針を明らかにすることができた。		
H22 実施結果	(実施結果) 新たに建築する建物、掲出する公共サイン等について、指針に基づいた整備を実施した。		
	事業費：0千円		
	(実施効果) 指針に基づいた整備を庁内で推進することで、職員の景観形成に対する意識の向上が図られるとともに、景観に配慮した建物、公共サイン等を設置することができた。		
H23 実施予定	指針に沿った公共施設の整備		
H24 実施予定	同上		
H25 実施予定	同上		
景観における 事業推進の 今後の課題	その他、町が先導的な役割を担うべき方策を検討する必要がある。		
備考			

事業名	6-2 景観保全形成事業 (景観計画実施計画の策定)	担当課	都市整備課
H21 実施結果	(実施結果) 平成 22 年 1 月に実施計画を策定した。 対象事業 : 30 事業		
	事業費 : 0 千円 (決算)		
	(実施効果) 景観まちづくりの将来像を具現化するため、重点的に取り組むべき事業とその内容を明らかにすることができた。		
H22 実施結果	(実施結果) 平成 21 年度の実施状況報告書を作成し、ホームページにおいて対外的に周知を行った。		
	事業費 : 0 千円		
	(実施効果) 対外的に周知を行ったことで、実施計画における進行管理をより徹底させることができた。		
H23 実施予定	事業の執行と取組状況の公表		
H24 実施予定	同上		
H25 実施予定	同上		
景観における 事業推進の 今後の課題	今後においても計画内容やその実施状況について住民等に積極的に情報提供する必要がある。		
備 考			

事業名	6-3 景観保全形成事業 (その他・調査研究)	担当課	都市整備課
H21 実施結果	<p>(実施結果) 今後における景観形成のための研究課題として、重点的に取り組むべき事項を確認した。 規制及び窓口の一元化 乗り物からの眺望保全</p> <hr/> <p>事業費：0千円(決算)</p> <p>(実施効果) これから重点的に取り組むべき研究課題の確認ができた。</p>		
H22 実施結果	<p>(実施結果) 昨年度に引き続き、重点的に取り組むべき事項について調査・研究を行った。 規制及び窓口の一元化 乗り物からの眺望保全</p> <hr/> <p>事業費：0千円</p> <p>(実施効果) 関連機関と事務レベルにおける意見交換を行う等、調査・研究を進めることができた。</p>		
H23 実施予定	調査・研究方策検討		
H24 実施予定	同上		
H25 実施予定	同上		
景観における 事業推進の 今後の課題	<p>窓口の一元化については、手続状況を確認するとともに、それら課題を整理し、国、県等と十分な調整・協議し、対応策を検討する必要がある。</p> <p>乗物からの眺望保全は、調査対象や具体的な研究の進め方等、方策を検討する必要がある。</p>		
備 考			